

# 第13回

# 地域発「活力・発展・安心」デザイン実践交流会

## 2020年 2月29日(土)

会場:国東市「梅園の里」(三浦梅園 生誕の地) 国東市安岐町富清2244

テーマ:「地域と学校が協働して子どもを育てる仕組みづくりを語ろう  
～地域学校協働本部とコミュニティ・スクールの  
一体的な取組みを目指して～」

### プログラム

#### ■10:00 開会行事

#### ■10:20～12:10 第1部 地域での実践活動の発表

- ①「NPO法人こどもサポートにつこ・にこ」(杵築市) 理事長 小畑 たるみ
- ② 国東市立武蔵西小学校の学校応援団「ふるさとホットラインの活動」校長 溝部 剛
- ③「別府市立石垣小学校学校運営協議会」(別府市) 副委員長 安達 美和子

#### ■13:00～16:30 第2部 地域と学校が協働して子どもを育てる仕組みづくりを考える

##### 《1》13:00～14:10 基調報告

テーマ:「九州地域のコンサルタント活動から見る地域学校協働活動の課題解決の  
アイデアとは」～Q&Aでお答えします～※Q(質問)を受付時に伺います  
<報告者>【文科省事業】地域学校協働活動推進コンサルタント(略称)  
NPO法人大分県協育アドバイザーネットワーク理事長 中川 忠宣

##### 《2》14:30～16:30 シンポジウム

テーマ:「コミュニティ・スクールと地域学校協働本部の一体的な仕組みを考えよう」

##### <シンポジスト>

別府市立石垣小学校長	佐藤 元昭	*教育効果と教職員の負担を語る
中津市教育委員会社会教育課生涯学習推進室長	山本 健吾	*地域学校協働本部の活動を語る
国東市協育コーディネーター	萱島 かよ	*地域学校協働活動を支える活動を語る
文部科学省事業 CSマイスター	梶原 敏明	*取組へのアドバイス

<司会者>林 浩昭(東国東地域デザイン会議会長・大分県教育委員会教育委員)

#### ■17:00～情報交換会 <朝まで語ろう「私の活動・・・」>

# 活力

# 発展

# 安心

### 参加費無料

昼食・宿泊費等は別途必要です。  
詳細は参加申込書をご参照ください

### 申込方法

- 申込みフォーム <https://www.he.oita-u.ac.jp/13design/>からお申し込みください。  
右記QRコードからもアクセスできます。
- 電子メール、郵送、FAXでの申込みも可能です。別紙「参加申込書\*」をご参照ください。  
\*参加申込書は、要項と併せてホームページに掲載しています。
- 令和2年2月14日(金)までにお申し込みください。(当日参加も受け付けます)  
※情報交換会・宿泊希望者は令和2年2月5日(水)必着で、必ず事前申込みをお願いします。  
詳細(広報):「大分大学高等教育開発センター」<https://www.he.oita-u.ac.jp/>  
「NPO法人大分県協育アドバイザーネットワーク」<https://kyouikunet.sakura.ne.jp/>



QRコード

### 問い合わせ・申込み先

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地 大分大学学生支援部教育支援課  
TEL/097-554-7641 FAX/097-554-7445 メール/kyokikss@oita-u.ac.jp



<2020年(R2年)>

## 第13回 地域発『活力・発展・安心』デザイン実践交流会要項

本交流会は、「おおいた教育の日」の趣旨に賛同して、県教育委員会や県内のほとんどの市町村からの発表をいただきながら開催し、今回で13回目を迎えます。近年、学校や家庭、地域における様々な取組みについて連携・協力が求められ、県内各地においても各種組織・団体が学校等で連携・協力した新しい取組みが行われています。特に、文部科学省及び県教育委員会においては、地域住民のネットワーク化による、地域と学校との協働を進めるシステムづくりのために、学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)<sup>※1</sup>の導入と、地域学校協働本部の整備による地域学校協働活動<sup>※2</sup>を促進しています。参加者が互いに交流することによって、こうした取組みの実践者自身が活動エネルギーを蓄えるために、本交流会を開催します。

運営委員長(東国東地域デザイン会議会長) 林 浩昭

※1、※2 裏面資料参照

テーマ 地域と学校が協働して子どもを育てる仕組みづくりを語ろう  
～地域学校協働本部とコミュニティ・スクールの一体的な取組みを目指して～  
主催 東国東地域デザイン会議/大分大学高等教育開発センター  
NPO法人大分県協育アドバイザーネット  
会場 「梅園の里」(国東市安岐町富清2244)  
☆梅が咲き誇る三浦梅園生誕の地～「梅園の里」～☆  
期日 令和2年(2020年)2月29日(土)

日程

■10:00 開会行事

■10:20～12:10 第1部 地域での実践活動の発表 ※各団体の活動概要は裏面をご参照ください

- ①「NPO 法人こどもサポートにっこ・にこ」(杵築市) 理事長 小畑 たるみ
- ② 国東市立武蔵西小学校の学校応援団「ふるさとホットラインの活動」 校長 溝部 剛
- ③「別府市立石垣小学校学校運営協議会」(別府市) 副委員長 安達 美和子

■13:00～16:30 第2部 地域と学校が協働して子どもを育てる仕組みづくりを考える

《1》13:00～14:10 基調報告

テーマ:「九州地域のコンサルタント活動から見る地域学校協働活動の課題解決の  
アイデアとは」～Q&Aでお答えします～ ※Q(質問)を受付時に伺います。

<報告者> [文科省事業] 地域学校協働活動推進コンサルタント(略称)  
NPO法人大分県協育アドバイザーネット理事長 中川 忠宣

《2》14:30～16:30 シンポジウム

テーマ:「コミュニティ・スクールと地域学校協働本部の一体的な仕組みを考えよう」

<シンポジスト>

別府市立石垣小学校長	佐藤 元昭	*教育効果と教職員の負担を語る
中津市教育委員会社会教育課生涯学習推進室長	山本 健吾	*地域学校協働本部の活動を語る
国東市協育コーディネーター	萱島 かよ	*地域学校協働活動を支える活動を語る
文部科学省事業 CSマイスター	梶原 敏明	*取組へのアドバイス

<司会者> 東国東地域デザイン会議会長、大分県教育委員会教育委員 林 浩昭

■17:00～ 情報交換会<朝まで語ろう「私の活動・・・」>

申込方法 ○申込フォーム<https://www.he.oita-u.ac.jp/13design/>からお申し込みください。右記のQRコードからもアクセスできます。

○電子メール、郵送、FAXでのお申し込みも可能です。別紙「参加申込書」をご参照ください。

○令和2年2月14日(金)までにお申し込みください。(当日参加も受け付けます)  
※情報交換会・宿泊希望者は令和2年2月5日(水)必着で、必ず事前申込みをお願いします。

参加費 無料 ※宿泊費等は別途必要です。必要費用は別紙「参加申込書」をご参照下さい。

詳細(広報) 「大分大学高等教育開発センター」<https://www.he.oita-u.ac.jp/>

「NPO法人大分県協育アドバイザーネット」<https://kyouikunet.sakura.ne.jp/>



QRコード

問い合わせ・申込み先

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地 大分大学高等教育開発センター(学生支援部教育支援課公開講座担当)  
TEL/097-554-7641 FAX/097-554-7445 MAIL/kyokikss@oita-u.ac.jp

### <地域発『活カ・発展・安心』デザイン実践交流会の名称の意味>

「地域発」：県内18市町村のいろんな地域から活動情報を発信する交流会とする。

「活カ」：参加者が活カを貰う交流会とする。

「発展」：「次世代を担う子どもたちの育成による地域の発展」をテーマとする。

「安心」：テーマ実現により、子どもや高齢者の安全・安心、地域産業等の発展による安心な地域づくり等を目指した交流会とする。

「デザイン」：新しい発想、地域の個性・独自性等がデザインされた交流会とする。

「実践」：実践していることの交流会とする。

### <文部科学省が推進する地域学校協働活動の一体的推進の意味>

#### ※1 学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）

学校と保護者や地域住民が共に知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」への転換を進めるための仕組みです。平成29年3月の地方教育行政の組織及び運営に関する法律（地教行法）の改正により、その設置が努力義務化され、大分県においてはすでに70%以上の公立小中学校で導入されています。成果を上げるためには地域学校協働本部との一体的な取組を目指します。

#### ※2 地域学校協働活動

地域の高齢者、成人、学生、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動（学校支援、土曜日・放課後活動、まちづくり、地域活動、子供の学習支援、家庭教育支援活動等）を地域全体でネットワーク化を進める「地域学校協働本部」を整備する取組です。

平成29年3月の社会教育法の改正により法律に位置付けられ、教育委員会が地域学校協働活動の機会を提供する事業を実施する際には地域住民等と学校との連携協力体制の整備や、普及啓発活動などの措置を講じること、地域と学校をつなぐ「地域学校協働活動推進員」の委嘱ができることとする規定が設けられました。大分県においてはこれまでの公民館を中心として学校支援活動を行ってききましたが、その取組をさらに充実・整備するものです。

### <実践事例の概要>

#### ① 「NPO 法人こどもサポートにっこ・にこ」（杵築市）

一昨年から放課後児童クラブ・すこやかクラブ・のびやかクラブを受託運営、園児から小学生を対象に地域で育ちあう子育て・親育ての支援をしています。今回の発表は、今年から杵築市行政の理解をいただき、公益財団法人 B&G 財団の補助事業を活用して、共働きやひとり親世帯の主に小学生を対象として、夕方から夜9時まで預かる施設「子どもの居場所 b & g きつき」の運営について発表します。

#### ② 国東市立武蔵西小学校の学校応援団「ふるさとホットラインの活動」（国東市）

子どもたちのふるさと意識の醸成を目的とし、地域の方々との交流・応援によって教育活動の充実を目指して2000年度（平成12年度）から活動が始まりました。地域の教材から学び、地域の方々の中で温かく育てられ、ふるさとと繋がる教育活動を続けてこられたのは、地域の方々の応援団のおかげです。創作太鼓の「蛇谷太鼓」の演奏や現地学習、農業体験、読み聞かせ活動、学習への支援活動等々、地域の方々との温かい交流で子どもたちはもちろん、応援していただいている地域の方々からも喜ばれて20年間の活動が続いてきました。今年度で閉校になりますが地域からの応援活動は今後も続けていきたいと願っており、学校教育への成果と地域の方々の活動について発表します。

#### ③ 「別府市立石垣小学校学校運営協議会」（別府市）

本校では学校運営協議会を年6回と必要に応じた企画会議を開催し、委員の研修、学校運営方針の承認、学校関係者評価等の学校運営への意見、教職員との意見交換等を行っています。また、公民館のコーディネーターと協力した日常的な教育活動へのコーディネート、委員提案の「朝先生」やキャリア教育のための武田製薬等の招聘を行うなどしてきましたが、今回の発表はこうした学校運営協議会の活動について発表します。

# 参加申込書

○必要事項に記入及び○印をつけ、郵送またはFAXでお送りください。

○電子メールで申込みの場合は、以下の情報をメール文面に入力し送付してください。

申し込み日（ 月 日）		申込代表者（ ）			
氏名		所属団体・機関等		住所・連絡先（電話等）	
午前 （事例発表）	昼食	午後① （基調報告）	午後② （シンポジウム）	情報 交換会	宿泊 （朝食含む）
氏名	所属団体・機関等		住所・連絡先（電話等）		
午前 （事例発表）	昼食	午後① （基調報告）	午後② （シンポジウム）	情報 交換会	宿泊 （朝食含む）
氏名	所属団体・機関等		住所・連絡先（電話等）		
午前 （事例発表）	昼食	午後① （基調報告）	午後② （シンポジウム）	情報 交換会	宿泊 （朝食含む）
氏名	所属団体・機関等		住所・連絡先（電話等）		
午前 （事例発表）	昼食	午後① （基調報告）	午後② （シンポジウム）	情報 交換会	宿泊 （朝食含む）

※必要経費内訳（予定）交流会当日に受付にてお支払いください。

金額：昼食（600円）／情報交換会（3,000円）／宿泊（朝食含む）（5,000円）